

西医学习中医试用教材

中医方剂学

甘肃人民出版社

R289
4

西医学习中医试用教材

中 医 方 剂 学

尚坦之 主编

甘 肃 人 民 出 版 社

中医方剂学

尚坦之 主编

甘肃人民出版社出版

(兰州庆阳路230号)

甘肃省新华书店发行 兰州新华印刷厂印刷

开本787×1092毫米1/32 印张6.125 字数122,500

1979年5月第1版 1979年5月第1次印刷

印数: 1—50,310

书号: 14096·45 定价: 0.50元

编写说明

这套西医学习中医试用教材，是以全国中医学院试用教材为蓝本，结合我省老中医临床经验及民间经验，由我所组织编写而成。曾作为我省两年制西医学习中医班讲义内部印行。这次出版前，又作了全面修订，对古典医著的条目进行了新的归类；临床各科，则力求采取以证为主、以证带病、病中辨证、病证结合的编写体例。

这套教材，计有：《内经释义》、《伤寒论释义》、《金匱要略释义》、《温病学》、《中医基础理论》、《中药学》、《中医方剂学》、《中医内科学》、《中医妇科学》、《中医儿科学》、《中医外科学》、《针灸学》等十二种。可供不同学制的西医学习中医班选用，亦可供中西医务人员自学参考。

甘肃省新医药学研究所

一九七八年十月

(81)	对麻黄汤
(91)	对麻黄汤
(91)	对麻黄汤
(98)	对麻黄汤
(12)	对麻黄汤

目 录

(12)	上 篇 总 论	下 寒
(12)	第一章 方剂的组成与变化	(1)
(22)	一、组成原则	(1)
(22)	二、组成变化	(2)
(22)	第二章 剂型与用法	(5)
(22)	第三章 药量的演变	(7)

下 篇 各 论

(22)	第一章 解表剂	(10)
(22)	一、辛温解表	(11)
(22)	1. 麻黄汤	(11)
(22)	2. 桂枝汤	(12)
(22)	3. 大青龙汤	(12)
(22)	4. 小青龙汤	(13)
(22)	5. 人参败毒散	(14)
(22)	6. 九味羌活汤	(15)
(22)	7. 香苏饮	(15)
(22)	8. 麻黄附子细辛汤	(16)
(22)	9. 苍耳散	(17)
(22)	二、辛凉解表	(17)
(22)	1. 麻杏甘石汤	(17)

2. 桑菊饮 (18)

3. 银翘散 (19)

4. 加减葶藶汤 (19)

5. 升麻葛根汤 (20)

第二章 泻下剂 (21)

一、寒下 (21)

(1) 1. 大承气汤 (21)

(1) 2. 凉膈散 (22)

(2) 3. 大陷胸汤 (23)

(2) 4. 十枣汤 (24)

二、温下 (25)

1. 温脾汤 (25)

2. 三物备急丸 (25)

三、润下 (26)

(11) 麻仁丸 (26)

四、攻补兼施 (27)

(12) 1. 黄龙汤 (27)

(12) 2. 增液承气汤 (28)

第三章 和解剂 (29)

一、和解少阳 (29)

(12) 小柴胡汤 (29)

二、调和肝脾 (30)

(16) 1. 四逆散 (30)

(16) 2. 逍遥散 (31)

(16) 3. 当归芍药散 (32)

三、调和肠胃 (32)

(74)	1. 半夏泻心汤		(33)
(81)	2. 黄连汤		(33)
(91)	四、其他		(34)
(91)	达原饮		(35)
第四章	表里双解剂		(36)
(112)	一、解表攻里		(36)
(112)	1. 大柴胡汤		(36)
(122)	2. 防风通圣散		(37)
(122)	二、解表清里		(38)
(122)	葛根黄芩黄连汤		(38)
(122)	三、解表温里		(39)
(122)	五积散		(39)
第五章	清热、泻火剂		(40)
(132)	一、清气分热		(40)
(132)	1. 白虎汤		(41)
(132)	2. 竹叶石膏汤		(41)
(132)	3. 栀子豉汤		(42)
(132)	二、清营凉血		(43)
(132)	1. 清营汤		(43)
(132)	2. 犀角地黄汤		(44)
(132)	三、气血两清		(44)
(132)	清瘟败毒饮		(45)
(132)	四、泻火解毒		(46)
(132)	1. 黄连解毒汤		(46)
(132)	2. 普济消毒饮		(47)
(132)	五、清脏腑热		(47)

(38)	1. 泻心汤	(47)
(38)	2. 导赤散	(48)
(38)	3. 龙胆泻肝汤	(49)
(38)	4. 泻白散	(49)
(38)	5. 清胃散	(50)
(38)	6. 玉女煎	(51)
(38)	7. 芍药汤	(51)
(38)	8. 白头翁汤	(52)
(38)	9. 清胰汤一号	(52)
(38)	附：清胰汤二号	(53)
(38)	10. 复方小柴胡汤	(53)
(38)	11. 胆道排石汤	(54)
(38)	六、清虚热	(55)
(38)	1. 青蒿鳖甲汤	(55)
(38)	2. 当归六黄汤	(56)
(38)	第六章 祛暑剂	(57)
(38)	1. 香薷散	(57)
(38)	2. 清暑益气汤	(58)
(38)	第七章 开窍、通关剂	(59)
(38)	一、凉开	(59)
(38)	1. 牛黄清心丸	(59)
(38)	附：安宫牛黄丸	(60)
(38)	2. 小儿回春丹	(60)
(38)	二、温开	(61)
(38)	1. 苏合香丸	(61)
(38)	2. 通关散	(62)

第八章 温里、回阳剂	(63)
(08) 一、温中祛寒	(63)
(18) 1.理中丸(汤)	(63)
(58) 2.大建中汤	(64)
(58) 3.小建中汤	(65)
(68) 4.吴茱萸汤	(66)
(18) 二、回阳救逆	(66)
(28) 1.四逆汤	(66)
(68) 2.回阳救急汤	(67)
(78) 3.附子汤	(68)
(88) 三、其他	(69)
(88) 1.厚朴温中汤	(69)
(08) 2.当归四逆汤	(70)
(00) 3.四神丸	(71)
第九章 消导、化积剂	(71)
(10) 1.保和丸	(72)
(20) 2.香砂枳术丸	(73)
(30) 3.健脾丸	(74)
(80) 4.枳实消痞丸	(74)
第十章 补益剂	(75)
(10) 一、补气	(76)
(20) 1.四君子汤	(76)
(80) 2.参苓白术散	(77)
(80) 3.补中益气汤	(78)
(70) 4.生脉散	(79)
(70) 5.秘元煎	(79)

(80) 二、补血..... (80)

(80) 1. 四物汤..... (80)

(80) 2. 归脾汤..... (81)

(80) 3. 炙甘草汤 (亦名复脉汤)..... (82)

(80) 三、补阴..... (82)

(80) 1. 六味地黄丸..... (83)

(80) 2. 大补阴丸..... (84)

(80) 3. 虎潜丸..... (85)

(80) 4. 大造丸 (原名河车大造丸)..... (86)

(80) 5. 天王补心丸..... (87)

(80) 6. 酸枣仁汤..... (88)

(80) 7. 月华丸..... (88)

(07) 8. 参胶补肺丸..... (89)

(17) 9. 玉液汤..... (90)

(17) 四、补阳..... (91)

(27) 1. 肾气丸..... (91)

(27) 2. 右归饮..... (92)

(17) 3. 补肾丸..... (92)

第十一章 重镇安神剂..... (93)

(27) 1. 柴胡加龙骨牡蛎汤..... (94)

(07) 2. 安神丸..... (94)

(07) 3. 枕中丸..... (95)

(77) 4. 磁朱丸..... (96)

第十二章 固涩剂..... (96)

(07) 1. 牡蛎散..... (97)

(07) 2. 桃花汤..... (97)

(411)	3.养脏汤	(98)
(511)	4.金锁固精丸	(99)
(611)	5.固经丸	(99)
(611)	6.固冲汤	(100)
(611)	7.来复汤	(101)
(611)	8.九仙散	(101)

第十三章 理气剂 (102)

一、行气 (102)

(811)	1.越鞠丸	(103)
(911)	2.半夏厚朴汤	(103)
(911)	3.加味乌药汤	(104)
(1011)	4.瓜蒌薤白半夏汤	(105)
(1011)	5.暖肝煎	(106)
(1011)	6.茴香橘核丸	(106)

二、降气 (107)

(111)	1.旋覆代赭汤	(107)
(121)	2.橘皮竹茹汤	(108)
(121)	3.丁香柿蒂汤	(109)
(121)	4.定喘汤	(109)
(121)	5.苏子降气汤	(110)

第十四章 理血剂 (111)

一、活血祛瘀 (111)

(131)	1.桃仁承气汤	(112)
(131)	2.桂枝茯苓丸	(112)
(131)	3.温经汤	(113)
(131)	4.生化汤	(114)

(80)	5.通窍活血汤	(114)
(00)	附: (1)血府逐瘀汤	(115)
(00)	(2)膈下逐瘀汤	(116)
(001)	(3)少腹逐瘀汤	(116)
(101)	(4)补阳还五汤	(116)
(101)	6.调经汤	(116)
(201)	7.艾附暖宫丸	(117)
(201)	8.宣郁通经汤	(118)
(201)	9.复元活血汤	(118)
(201)	附: 桃红泽兰汤	(119)
(401)	10.七厘散	(119)
(201)	附: (1)折伤接骨丹	(120)
(201)	(2)损伤散	(120)
(201)	(3)九分散	(120)
(70)	二、止血	(120)
(701)	1.十灰散	(121)
(801)	2.小蓟饮子	(121)
(001)	3.槐花散	(122)
(201)	4.黄土汤	(123)
(011)	5.胶艾汤	(123)
(111)	6.咯血方	(124)
(111)	7.加味乌贝散	(125)
(211)	附: 204胃药	(126)
	第十五章 治风剂	(126)
(211)	一、疏散外风	(126)
(111)	1.小续命汤	(127)

(841)	2. 独活寄生汤	(127)
(441)	3. 蠲痹汤	(128)
(541)	4. 桂枝芍药知母汤	(129)
(541)	5. 桂枝附子汤	(130)
(641)	附: (1) 白术附子汤	(130)
(741)	(2) 甘草附子汤	(130)
(741)	6. 玉真散	(131)
(841)	7. 川芎茶调散	(131)
(941)	8. 竹叶汤	(132)
(941)	二、平熄内风	(133)
(941)	1. 羚角钩藤汤	(133)
(041)	2. 阿胶鸡子黄汤	(134)
(141)	3. 大定风珠	(135)
(141)	4. 镇肝熄风汤	(136)
	第十六章 祛湿剂	(137)
(141)	一、燥湿化浊	(137)
(141)	1. 平胃散	(137)
(141)	2. 六和汤	(138)
(141)	3. 藿香正气散	(139)
(141)	二、清热利湿	(140)
(141)	1. 甘露消毒丹	(140)
(141)	2. 三仁汤	(141)
(141)	3. 连朴饮	(141)
(141)	4. 茵陈蒿汤	(142)
(141)	5. 八正散	(142)
(141)	三、利水化湿	(143)

(781)	1. 五苓散		(143)
(881)	2. 猪苓汤		(144)
(981)	3. 五皮散		(145)
(081)	4. 防己黄芪汤		(145)
(081)	5. 导水茯苓汤		(146)
(081)	四、温化水湿		(147)
(181)	1. 苓桂术甘汤		(147)
(181)	2. 实脾散		(148)
(381)	3. 草薢分清饮		(149)
(381)	五、宣散湿邪		(149)
(381)	1. 羌活胜湿汤		(149)
(481)	2. 鸡鸣散		(150)
(481)	六、其他		(151)
(581)	1. 完带汤		(151)
(581)	2. 易黄汤		(152)
(581)	第十七章 润燥剂		(152)
(581)	一、轻宣润燥		(153)
(681)	1. 杏苏散		(153)
(681)	2. 桑杏汤		(154)
(081)	3. 清燥救肺汤		(154)
(081)	4. 沙参麦门冬汤		(155)
(181)	二、甘寒滋润		(156)
(181)	1. 琼玉膏		(156)
(381)	2. 百合固金汤		(157)
(381)	3. 养阴清肺汤		(157)
(381)	4. 麦门冬汤		(158)

(871) 5. 增液汤 (159)

第十八章 祛痰剂 (159)

一、燥湿化痰 (160)

(471) 1. 二陈汤 (160)

(871) 2. 指迷茯苓丸 (161)

二、润燥化痰 (161)

(176) 1. 贝母瓜蒌散 (162)

(871) 2. 贝母散 (162)

三、清热化痰 (163)

(771) 1. 清气化痰丸 (163)

(871) 2. 滚痰丸 (164)

(871) 3. 二母宁嗽汤 (164)

四、祛寒化痰 (165)

(871) 冷哮丸 (165)

五、治风化痰 (166)

(081) 1. 止嗽散 (166)

(181) 2. 半夏白术天麻汤 (167)

3. 细辛汤 (167)

第十九章 驱虫剂 (168)

1. 乌梅丸 (169)

2. 理中安蛔汤 (169)

3. 连梅安蛔汤 (170)

4. 安蛔汤 (170)

5. 肥儿丸 (171)

第二十章 痢疾剂 (172)

一、阳证治法 (172)

上篇 总论

第一章 方剂的组成与变化

方剂，是运用药物的进一步发展。药物通过配伍组织之后，既能增强它的原有作用，更能调和偏胜，制其毒性，消除或缓和对人体不利的影响。因此，药物配合成为方剂时，就同单味药的原有效果有所不同，能够更好地全面适应比较复杂的病证。历代医学家在实践中积累了经验，已经从理论上总结提高，并掌握了组成方剂的基本规律。兹将方剂的组成与变化，分述如下。

一、组成原则

由药物配合成为方剂，主要是根据病情的需要，在辨证立法的基础上，配伍适当药物，规定必要剂量，组织成方。

由于疾病的机转是复杂多变的，有并病，有合病，或数病相兼，或虚实并见。所以，单凭单味药，便不足以兼顾全面，必须把多种药物经过有系统、有主次地配伍起来，才能适应客观疾病的需要。药物从单味到复合，从复合而成为方剂，这是一个发展的过程。方剂的组成原则，是由主治药、辅助药、兼制药及引和药四个方面所组成。主治药，是治疗